

火の用心通信 (2013年9月) No.23

横浜市金沢消防署

9月9日は
救急の日

救急をもっと知ろう!

現在、横浜市内では63隊の救急車が運用しています。心肺機能停止の方に対しては、器具による気道確保・点滴・電気ショックを行うとともに、消防司令センターに在勤している医師と直接連絡を取り、医療機関に搬送することができます。

しかし、症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「便利だから」と救急車を呼ぶ人がいます。救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急車の受診について考えてみませんか。

●平成24年中の救急活動状況●

【横浜市内】

救急出場件数	170,228件
搬送人員	148,713人
1日当りの平均出場件数	465件
市民利用状況	22人に1人

※横浜市の救急隊数:63隊



【金沢区内】

救急出場件数	9,256件
搬送人員	8,239人
1日当りの平均出場件数	25件
市民利用状況	22人に1人

※金沢区内の救急隊数:4隊

平成25年の横浜市内における上半期の救急出場件数は85,132件で、前年同期より2,632件(3.2%)増加し、最も多かった平成24年を上回る状況となっています。

●そばにいる人の救命処置はとても重要です●

心臓や呼吸が止まった人に対する救命処置は1分1秒を争います。

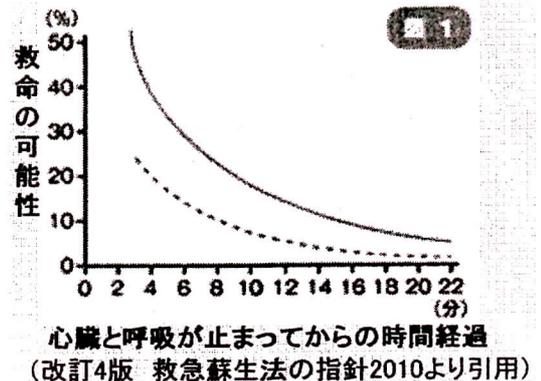
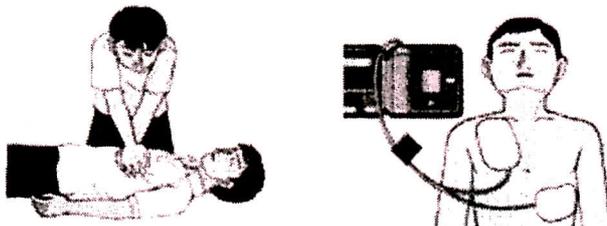
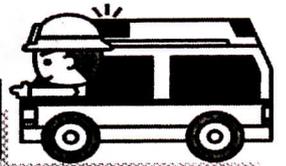


図1は、命が助かる可能性を示しています。心臓と呼吸が4分停止すると、命が助かる可能性は、救命処置をした場合が約40%であるのに対し、何もなかった場合は約20%と半減してしまふことがわかります。しかし119番通報から救急車が来るまでには平均で約8分以上の時間がかかります。したがって、その場に居合わせた人の救命処置がとても重要なのです。

●実際にこのような119番通報がありました●

- ❶ ペットの具合が悪い
- ❶ 昨日飲み過ぎた
- ❶ 寒いから灯油を買ってきてほしい
- ❶ 食事中に舌をかんだ
- ❶ 蚊に刺されてかゆい
- ❶ 病院でもらった薬がなくなった

●こんなときは救急車をためらわず使いましょう●



こんな症状が見られたら、重大な病気やケガの可能性あります。

大人

顔

- 顔色が暗い、あるいはあざい
- ニッパリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

手足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てない
- ぐらゐ急にふらつく

胸や背中

- 突然の胸痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または伝達されるような痛みが2〜3分続く
- 痛み場所が移動する

腹

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

子供(15歳未満)

顔

- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがり、嘔吐が止まらない
- ウンチに血がまじった

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

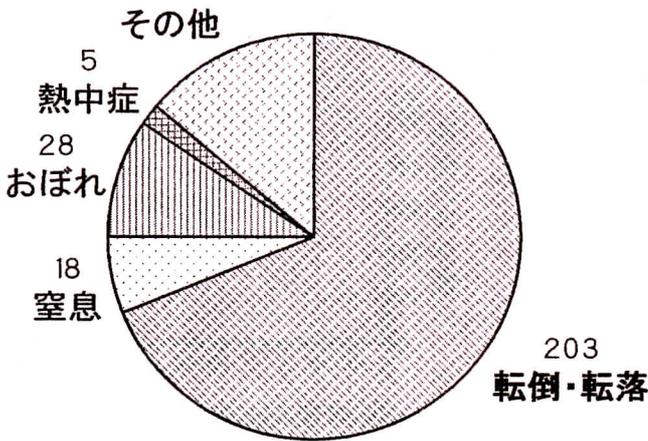
●家庭内で発生する救急事故が増えています●

一見、安全と思われる家庭内において、入院が必要な事故やケガが平成20年から平成24年までの5年間に、金沢区内で1,328件発生しています。

このうち、**高齢者の事故が約8割**を占めています。これらの事故は、ご本人はもちろん、家族や周りにいる人が少し気をつければ防げたものが多いとあります。家庭内の生活環境を見回して対策を講じましょう！



金沢区内 原因別内訳(24年中)



～家庭内では特に転倒・転落に注意!!～

家庭内の事故で最も多く発生しているのが転倒・転落によるものです。

【転倒事故が発生しやすい原因】

- 小さな段差(敷居、カーペットの縁)でつまづく
- 滑りやすい場所(お風呂場、床の紙や衣類)でスリッパ
- 雑然とした室内(物をまたいで歩く行為)でよろめく
- 飲酒后、酔ってころぶ



転倒・転落の予防

- ・階段、廊下、風呂場、トイレ等に手すりを設定しましょう！
- ・整理整頓し、つまづきをなくしましょう！

入浴事故の予防

- ・脱衣場を暖かくして浴室との温度差を少なくしましょう！
- ・家族が入浴時間の確認と、声かけを行いましょう！

窒息・誤嚥の予防

- ・食べ物は小さく切り、よく噛んで食べましょう！
- ・水分をこまめに摂りましょう！

金沢消防署のホームページで「かわら版」「火の用心通信」を見ることができます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/18syosyo/kanazawa/kanazawa-inf.html>

